

ART FESTIVAL 2017

HIDDEN BEAUTY

隠れた美

アートフェスティバル 2017年10月14日（土）

浜離宮朝日小ホール

中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社 新館

Hamarikyu Asahi Hall

5-3-2 Tsukiji, Chuo Ku, Tokyo



www.gracecitychurch.jp

www.communityarts.jp



HIDDEN BEAUTY ～隠れた美～

美は幸福をもたらします。美しい景色と音は私たちの感覚を楽しませ、生活に喜びを与えてくれます。おいしい物を食べる時、私たちは「美味しい」と表現し、礼拝をささげるとき、私たちは神の美をほめたたえます(賛美)。美とは(派手に)飾ることも、センチメンタルで上辺だけのことでもありません。隠れた「美」は、多面的で世代を超え、はかないのに変わることがなく、この地にありながらも超越的で、シンプルなようで複雑であり、落ち着いているようで大胆です。「隠れた」美はゆっくりと意外な形でそれ自身をあらわし、時に痛みと犠牲を伴っているものです。ご一緒に「隠れた美」を探求してみましょう。

HIDDEN BEAUTY

Beautiful sights and sounds please our senses and bring joy to our lives. When something tastes good, we say it has beautiful taste (“oishii”). When Christians worship, they worship the God of Beauty (“sanbi”). Beauty is not gaudy, sentimental, or surface deep. “Hidden” aspects of beauty are multi-dimensional, transgenerational, ephemeral yet permanent, earthy yet transcendent, simple yet complicated, modest yet bold. “Hidden” beauty reveals itself slowly and in unexpected ways and may include pain and sacrifice. Let’s explore and enjoy these hidden aspects of beauty together.

プログラム

12:00-13:00 受付

ロビー	ギャラリー閲覧
子供プログラム(6-14歳)	12:30に玄関前集合
ナーサリー(0-5歳)	12:45-17:00 (控室1) (詳細は35ページ)
小ホール	12:45から

13:00-14:30 第一部 (小ホール)

オープニング

挨拶 司会	福田真理 天海和彦
----------	--------------

隠れた美 …歌に

ディレクター	赤羽優子
シンガー	グレース・シティ・ゴスペル・クワイヤ (プロフィールは29ページ)
ピアニスト	林望
トーク	赤羽優子/アビ・ラウザー

Wade in the Water (アフリカ系アメリカ人の聖歌)

『水の中を行きなさい』という歌詞には、逃亡奴隷たちが自由になるために囚われの身、具体的な方法が示されています。この歌詞は、逃亡する奴隷に水の中へ入りなさいと指示しています。そうすれば犬が匂いを嗅いで、追跡することができないからです。また、ハリエット・タブマン(女性奴隷解放運動家)は、逃亡奴隷の間で密かに「モーセ(聖書の登場人物)」としても知られていました。イスラエルの民が、荒野や、ヨルダン川で迷った際、(=実際、「オハイオ川」を奴隷たちは自由になるために渡る必要があったことから、イスラエルの民が、荒野やヨルダン川をさまよって歩いたことと重ね合わせています。)歌詞の中に出てくる「赤、白、青」の色は、(聖書的な解釈とは別の意味で解釈すると)アメリカの国旗をなぞらえているともいえます。(注:以下の歌詞、すべてがパフォーマンスの中で歌われているわけではありません。あくまでも参考用に、掲載されています。)

※ハリエット・タブマンは、アメリカ北部やカナダへ黒人奴隷が逃亡する援助をする秘密結社の女性指導者の一人です。その功績から尊敬をこめて、「女モーセ」「黒人のモーセ」(Black Moses)とも呼ばれました。古代エジプトで奴隷となっていたイスラエル人をカナン(現在のイスラエル)の地へ導いた、古代の預言者モーセになぞらえてのことです。

水の中を行きなさい
水の中を行きなさい、子供たち
水の中を行きなさい
神様が水を乱してくださる

白い服の人たちを見てごらんよ
じきに神様が水を乱してくださる
彼らはまるでイスラエルの人たちのようだ
じきに神様が水を乱してくださる

PROGRAM

12:00-13:00 REGISTRATION

English translation provided. Please sign out a headset during this time.

Exhibition Space - Gallery open

Children's Program (Ages 6-14) - Gather outside main doors at 12:30 pm

Nursery (Ages 0-5) - 12:45-5:00 pm (See page 35)

Main Hall - 12:45 pm~

13:00-14:30 PLENARY SESSION 1 (Main Hall)

Opening

Welcome

Makoto Fukuda

Master of Ceremonies

Kazuhiko Amagai

HIDDEN BEAUTY

...in song

Director

Yuko Akaha

Singers

Grace City Gospel Choir (Profile on p. 29)

Pianist

Nozomi Hayashi

Talk

Yuko Akaha / Abi Lowther

Wade in the Water (Traditional African American Spiritual)

“Wade in the Water” contains explicit instructions to fugitive slaves on how to avoid capture and find the path to freedom. Escaping slaves should move in the water so that dogs can not follow their trail. Other references include Harriet Tubman, secretly known as “Moses” to runaway slaves, a band of “Israelites” lost in the wilderness and the “Jordan River,” which stands for the Ohio River, the river they need to cross to be free. References to red, white, and blue could be a reference to the American flag, another pointer to extra-Biblical meaning. (Note: Not all of the following words will be sung in performance but are listed for reference.)

Wade in the water

Wade in the water, children

Wade in the water

God's gonna trouble the water

Look at that band all dressed in white

God's gonna trouble the water

It looks like the band of the Israelites

God's gonna trouble the water

(繰り返し)

赤い服の人たちを見てごらんよ
じきに神様が水を乱してくださる
彼らはモーセの率いる人たちだ
じきに神様が水を乱してくださる

(繰り返し)

青い服の人たちを見てごらんよ
じきに神様が水を乱してくださる
そう乗り越えた人々に違いない
じきに神様が水を乱してくださる

(繰り返し)

私が(神様から)贖われたと信じないなら
じきに神様が水を乱してくださる
ヨルダン川を一緒に下ろう
じきに神様が水を乱してくださる

(繰り返し)

Swing Low, Sweet Chariot (アフリカ系アメリカ人の聖歌)

『スウィング・ロウ・スウィート・チャリオット』(日本語訳:もし君が先に着いたのなら僕もすぐに行くよと伝えておくれ)の詞には、アフリカ系アメリカ人の南部奴隷たちが北部へ逃れるための解放運動である、「地下鉄道(英:underground railroad)」について暗に言及しています。19世紀アメリカの黒人奴隷たちが、奴隷制が認められていた南部諸州から、奴隷制の廃止されていた北部諸州、ときにはカナダまで亡命することを手助けした 奴隷制廃止論者や北部諸州の市民たちによる組織です。

静かに揺れる 愛しのチャリオット
僕を迎えに来る
静かに揺れる 愛しのチャリオット
故郷へと運んでおくれ

ヨルダン川にを見渡して、何が見えたと思う?
故郷へと運んでおくれ
舞い降りる天使の群れ
故郷へと運んでおくれ

(繰り返し)

もし先に着いたのなら
故郷へと運んでおくれ
僕もすぐに行くよと伝えてくれ
故郷へと運んでおくれ

(繰り返し)

(Refrain)

*See that band all dressed in red
God's gonna trouble the water
It looks like a band that Moses led
God's gonna trouble the water*

(Refrain)

*Who is that all dressed in blue
God's gonna trouble the water
It must be the ones who made it through
God's gonna trouble the water*

(Refrain)

*If you don't believe I've been redeemed
God's gonna trouble the water
Follow me down to Jordan's stream
God's gonna trouble the water*

(Refrain)

Swing Low, Sweet Chariot *(Traditional African-American Spiritual)*

"Swing Low, Sweet Chariot" has hidden meaning about the freedom movement that helped African Americans escape Southern slavery to the North, known as the Underground Railroad.

*Swing low, sweet chariot
Coming for to carry me home
Swing low, sweet chariot
Coming for to carry me home*

*I looked over Jordan what did I see?
Coming for to carry me home
A band of angels coming after me
Coming for to carry me home*

(Refrain)

*If you get there before I do
Coming for to carry me home
Tell all my friends I'm coming, too
Coming for to carry me home*

(Refrain)

最も人生で輝かしい日とは
故郷へと運んでおくれ
神が全ての罪を拭いて去ってくれたときだ
故郷へと運んでおくれ

(繰り返し)

…ファッションに

トーク

シーラ・クリフ

ファッションは表面的で、見た目重視、変遷しやすく、女性のもと考えられがちです。女性たちのもの、すぐ変わるものです。でも日本のファッションは元々スローファッションであり、その深さ、表現力、材料の合わせ方をとってみても、とても立体的です。上辺を超えた深いところにある隠れた美しさを見てみましょう。

…愛に

俳優
ソネット&芝居

ショーン・デイビス
ウィリアム・シェイクスピア

史上、最も優れていると言われている英文学の劇作家、シェイクスピア。ウィリアム・シェイクスピアは34の劇(寸劇)、154のソネット(行詩)を残しました。ショーンは、これらの中からいくつかを選び、その「隠れた美」に着目して、パフォーマンスします。シェイクスピアの有名な『ソネット18番』では明らかに美しい「愛する人」を「夏の一日」と対比しています。しかし、『ソネット1130番』では、シェイクスピアは「愛する人」の明らかに欠けている美しさを列挙しつつも、同時に彼女の「隠れた美」に、うっとりしています。『ソネット29番』では、より沈んだトーンで自身を省みており、苦悩の中で自分の存在価値を忘れていた様子が描かれています。そして他者の愛のレンズを通して、詩人は、自身の「内側にある美」、さもなければ気づかなかった「隠れた美」を理解します。最後の作品は史劇『ヘンリー五世』よりお届けします。軍隊が交戦する中、疲れ果て、5対1で劣勢になってしまった状態において、ヘンリー王は、この地獄のような戦いの中で「隠れた美」を見つけます。軍隊を結集する中で友情、励まし、希望を見つけるのです。

ソネットー八

君を夏の日にたとえても
君はもっと美しいもとおだやかだ
手荒い風は五月の雷をふるわし
また夏の季節はあまりにも短い命。
時には天の眼はあまりにも暑く照る
幾度かその黄金の顔色は暗くなる
美しいものはいつかは衰える
偶然と自然のうつりかわりに美がはぎとられる。
だが君の永遠の夏は色あせることがない
君の美は失くることがない
死もその影に君を追放する勇気はない
君は永遠の詩歌に歌われ永遠と合体するからだ。
人間が呼吸する限りまた眼が見える限り
その詩は生き残り、これが君を生かすのだ。

*The brightest day that I can say
 Coming for to carry me home
 When Jesus washed my sins away
 Coming for to carry me home*

(Refrain)

...in fashion

Talk

Sheila Cliffe

Fashion is often seen as superficial, solely about appearances, changing quickly, and solely a woman's topic, but fashion in Japan is slow fashion. Japanese fashion is three-dimensional, characterized by depth, ability to express thoughts and emotions, and joining things together. Through a look at "Underground Fashion," we will find hidden beauty in the clothes we wear.

...in love

Actor

Sean Davis

Poems & Play

William Shakespeare

Perhaps the greatest writer in the English language, William Shakespeare wrote 38 plays and 154 sonnets. Sean will perform excerpts from these pieces to highlight the hidden beauty in his work. Shakespeare's famous "Sonnet 18" compares the obvious beauty of the beloved to a summer's day. However, in "Sonnet 130," Shakespeare enumerates the obvious lack of beauty of the beloved, and yet is enraptured by her hidden beauty. "Sonnet 29" takes on a more somber tone of self-reflection, forgetting his own worth in times of anguish. And yet, through the lens of another's love, the poet sees his own beauty which was otherwise hidden. The final piece is from the play, "Henry V." With the army about to engage in battle, exhausted and outnumbered 5-1, King Henry finds hidden beauty in the hell of war to rally his troops with friendship, courage, and hope.

Sonnet 18

*Shall I compare thee to a summer's day?
 Thou art more lovely and more temperate:
 Rough winds do shake the darling buds of May,
 And summer's lease hath all too short a date:
 Sometime too hot the eye of heaven shines,
 And often is his gold complexion dimm'd;
 And every fair from fair sometime declines,
 By chance, or nature's changing course, untrimm'd;
 But thy eternal summer shall not fade
 Nor lose possession of that fair thou ow'st;
 Nor shall Death brag thou wander'st in his shade,
 When in eternal lines to time thou grow'st;
 So long as men can breathe or eyes can see,
 So long lives this, and this gives life to thee.*

ソネット一三〇

私の女の眼は少しも太陽に似ていない
珊瑚もその唇の赤さより遙かに赤い
もし雪が白いならその胸は暗黒だ
もし髪の毛が針金なら黒い針金がその頭に生えている。
赤と白の色はまじりのバラを見たことがあるが
この女の頬にはそうした立派なものはない
私の恋人から発散する息よりも
或る香料の方がもっと快感だ。
この女のしゃべるのを聞くのが好きだが
音楽の方が遙かにもっと美しい音がすると信じる
女神の歩くのを見たことがないが
私の女が歩く時は土の上をふんでいる。
でも嘘の譬で描かれたような女は稀だが
私の愛人もまた稀に見る美人だと誓えるのだ。

ソネット二九

幸運に恵まれず世間からもみはなされ
私はただ一人自分のさげすまれる境遇を嘆き
幾度か無益に叫び矢を煩してもきかれず
自分をかえりみて自分の運命を呪うのだ。
もっと有望な人になりたい
容貌もあの人のように、友人関係もあの人のように
学才もこの人のように、力量もあの人のようにと。
私が最大に望む者には満たされること極へ少ない。
そう思うと私は自分を軽蔑するほどだが
幸いに君を思うと私の境遇は
夜明けに暗い土からのぼる雲雀のように
天の門口で讃歌を歌いだすのだ。
君の寵愛を憶うとすばらしい財宝がやってくる
私はもう王様とさえ私の境遇はとにかえるものか。

『ヘンリー五世』 第四幕、第三場 イギリス軍隊池。

今日はクリスピアン祭と呼ばれる日だ。
今日この日を生きのびて、無事に故国に帰り着く者は、
この日が人々の口にのぼるたびに緊張し、
クリスピアンの名前に奮起するだろう。
老後になってこの日を迎えるものは、
毎年その全夜祭には近所・近隣の人々を集めて振舞い、
そして言うだろう「あしたは聖クリスピアンの日だ」と。
それから袖を捲り上げて古い傷あとを見せ、
そして言うだろう「この傷は聖クリスピアンの日を受けたものだ」と。
老人は物忘れやすい。しかし他のことは全部忘れてしまっても、
その日に立てた手柄だけは、いろいろと尾ひれがつけ加えられて、
必ずや憶い出されることだろう。その時にはわれわれすべての者の名前は、
いつも口にのぼる、まったく言いならわされた言葉となって、
ヘンリー国王、ベッドフォード、エクセター、
ウォーリック、トールバット、ソルズベリ、グロスターなどと、
近隣の人々の汲みかわす盃に、生き生きと思い出されることだろう。
この物語を老人はその息子に伝えるだろう。
かくしてクリスピン・クリスピアンのお祭りの日には、

Sonnet 130

*My mistress' eyes are nothing like the sun;
 Coral is far more red than her lips' red;
 If snow be white, why then her breasts are dun;
 If hairs be wires, black wires grow on her head.
 I have seen roses damask'd, red and white,
 But no such roses see I in her cheeks;
 And in some perfumes is there more delight
 Than in the breath that from my mistress reeks.
 I love to hear her speak, yet well I know
 That music hath a far more pleasing sound;
 I grant I never saw a goddess go;
 My mistress, when she walks, treads on the ground:
 And yet, by heaven, I think my love as rare
 As any she belied with false compare.*

Sonnet 29

*When, in disgrace with fortune and men's eyes,
 I all alone beweep my outcast state
 And trouble deaf heaven with my bootless cries
 And look upon myself and curse my fate,
 Wishing me like to one more rich in hope,
 Featured like him, like him with friends possess'd,
 Desiring this man's art and that man's scope,
 With what I most enjoy contented least;
 Yet in these thoughts myself almost despising,
 Haply I think on thee, and then my state,
 Like to the lark at break of day arising
 From sullen earth, sings hymns at heaven's gate;
 For thy sweet love remember'd such wealth brings
 That then I scorn to change my state with kings.*

“Henry V” Act IV, Scene III. The English Camp.

*This day is call'd the feast of Crispian.
 He that outlives this day, and comes safe home,
 Will stand a tip-toe when this day is nam'd,
 And rouse him at the name of Crispian.
 He that shall live this day, and see old age,
 Will yearly on the vigil feast his neighbours,
 And say 'To-morrow is Saint Crispian.'
 Then will he strip his sleeve and show his scars,
 And say 'These wounds I had on Crispian's day.'
 Old men forget; yet all shall be forgot,
 But he'll remember, with advantages,
 What feats he did that day. Then shall our names,
 Familiar in his mouth as household words-
 Harry the King, Bedford and Exeter,
 Warwick and Talbot, Salisbury and Gloucester-
 Be in their flowing cups freshly rememb'ed.
 This story shall the good man teach his son;
 And Crispin Crispian shall ne'er go by,*

今日以後未来永劫に、
必ずやわれわれのことが思い出されることとなろう。
小人数のわれわれは、このしあわせな小人数のわれわれは、すべて兄弟の団である。
何となれば今日この日、わたしと共に皿を流す者は、
以後わたしの兄弟となるからだ。いかに身分低き者といえども、
今日この日に貴族の階級に列せられるのだ。
そして今ごろ故国イギリスでベッドにやすむ貴族たちは、後日、
ここに居なかったことを彼ら自身にふりかかった大いなる呪いと考え、
聖クリスピンの日にわれわれと共に戦った者が物語るのを聞けば、
彼ら自身大いに男を下げたと感じるだろう。

…沈黙に

トーク/オルガン	ロジャー・ラウザー
楽曲	G.F.ヘンデル
『メサイヤ』より『合唱:ハレルヤ』	長澤勝俊
『錦木によせて』より『瑠璃』	
(参照16ページ)	

音楽では、休符が、音符と同じように力強く何かを伝えます。日本画では、余白が、筆で描かれたものと同じように何かを伝えます。生花では、空間が、花や枝と同じように何かを伝えます。何も無い部分に美は隠れています。沈黙の中の美と福音の中の美はよく似ています。どちらも隠れた美です。そうでなければ、どうやって神の重い沈黙を負って十字架で死んだ男を、美しいと呼ぶことができるでしょうか。

…墨絵に

アーティスト	鮫島圭代
モデル	吉田タリタ
音楽	
<i>Black Sands Remixed (Duke Dumont's Grains of Sand)</i>	BONOBO
<i>Black Sands</i>	BONOBO
<i>Guns and Horses (INAKI Remix)</i>	Ellie Goulding

松の煤灰を固めて作られる墨。硯ですると、水に溶けだします。「墨に五彩あり」と言われる通り、黒一色の中に無限の色彩が広がります。日本の花嫁が着る伝統の着物、掛下に即興で描きます。

14:30-15:00 休憩 / ギャラリー展示閲覧 (展示スペース)
(音楽:カイル・エイロン、胡弓)

*From this day to the ending of the world,
But we in it shall be remembered-
We few, we happy few, we band of brothers;
For he to-day that sheds his blood with me
Shall be my brother; be he ne'er so vile,
This day shall gentle his condition;
And gentlemen in England now-a-bed
Shall think themselves accurs'd they were not here,
And hold their manhoods cheap whiles any speaks
That fought with us upon Saint Crispin's day.*

..in silence

Talk / Organ

Roger W. Lowther

Music

Chorus: *Hallelujah*
Luli from *A Tribute to Nishigiki*
(See p. 17)

George Frederick Handel
Katsutoshi Nagasawa

In music, silence communicates as powerfully as notes played. In painting, emptiness communicates as powerfully as strokes on the page. In ikebana, space between elements communicates as powerfully as flowers and twigs. Japanese traditional arts are full of beauty hidden in the empty and silent. Hidden beauty in silence speaks of hidden beauty in the gospel. How else can we call a man dying on a tree, bearing the full weight of the silence of God as beautiful?

...in sumie

Artist

Tamayo Samejima

Model

Talita Yoshida

Music

Black Sands Remixed (Duke Dumont's *Grains of Sand*)
Black Sands
Guns and Horses (INAKI Remix)

BONOBO
BONOBO
Ellie Goulding

Sumi ink is made from hardened pine tree soot. The inkstick is shaved on an ink stone, and then dissolved in water. Though just a single color of black, it contains an infinite number of hues, as it is said, "there are five colors of sumi ink." Today's improvisational performance taking place on an inner kimono, traditionally worn by Japanese brides, accentuates the inherent energy found in sumie paintings.

14:30-15:00 BREAK / GALLERY VIEWING (Exhibition Space)

(Music: Kyle Aaron on kokyu)

15:00-15:40 第2部 (ホール)

隠れた美

…お菓子に (映像)

象東	三浦和子
インタビュー	早川知子
ディレクター	マット・バンズ
プロデューサー	ポール・ネザコット
日本語字幕	岡田知子

象東和三盆工芸菓子屋の存在は、東京という早いスピードの都市生活で見落とされがちな「美」の一例かもしれません。東久留米にあるこの小さな店では、従業員が日本の茶道や特別な日のための贈答品ふさわしい和菓子作りに日々取り組んでいます。このユニークなお菓子には、砂糖と着色のみが使われています。ZOTO(象東)は、象(かたどる)、または、形取るという言葉で作っています。この小さなお菓子がどういう概念と気持ちを表して、形取っていますか。そして、私たちについて、そして、私たちの世界について何を伝えていますか。

…苦しみに

牧師	早矢仕“ジョージ”宗伯
----	-------------

人生には様々な苦しみがあり、人はそこで呻きます。しかし、その呻きの中で、想像も出来ないような美しさに出会います。この苦しみがなければ生まれなかったであろう美しいものがあります。人は、苦しみの中で創造的になれるのです。

…迫害に

黒い波

振付	鈴木アイリ
出演	
ダンス	鈴木アイリ
チェロ	ダイアナ・チェン
楽曲	
『Riverie』	ブラジリオ・カヴマ
『Kichijiro』	ダビデ・W・ソロモン
言葉	
『沈黙』	遠藤周作

「部落とは反対の方角へ走りました。畑に出ると、出来るだけ麦の穂の間に隠れながら、我々の小屋に至る山の方角へと進みました。その時少しずつ霧雨が降って来ました。日本の梅雨がいよいよ始まったのです。」(『沈黙』第3章)

「一羽の鳥がすれすれに海をかすめ、遠くに飛び去っていきました」(『沈黙』第4章)

遠藤周作の小説『沈黙』で、とあるクリスチャンは、海の中の杭にくくりつけられ、疲労と溺れることによりゆっくりと死んでいきます。キリシタンの殉教という強烈な事柄に着飯、暴かれたら命を失うことになる「信仰心」を熱く持ち続けることへの葛藤、神に対し絶望するという複雑な心境について考えます。神は沈黙しているのでしょうか、それともずっと共にいたのでしょうか。結局は黒い波のように行ったり来たりする感情にのみこまれてしまう人間の心がそこにあるのかも知れません。隠れた美は、キリストが私たちの罪と死と苦しみの立場を取ってくださったという事実を通してもたらされます。

15:00-15:40 PLENARY SESSION 2 (Main Hall)**HIDDEN BEAUTY****...in candy (video)**

ZOTO	Kazuko Miura
Interviewer	Tomoko Hayakawa
Director	Matt Burns
Producer	Paul Nethercott
Japanese Subtitles	Tomoko Okada

Sugar and coloring alone are used in the creation of unique Japanese candies made by the Tokyo shop ZOTO. The name ZOTO (象東), which means “In the East, to give shape to things hidden and unseen,” comes from the verb 象る (かたどる). An alternate kanji spelling 形取る, literally means “to take shape.” What concepts and emotions take shape in these little candies, and what do they teach us about ourselves and the world we live in?

...in suffering

Pastor	Hiroataka “George” Hayashi
--------	----------------------------

We groan with the various kinds of sufferings in our lives. However, in the midst of our groaning, we can encounter unimagined beauty. There is a kind of beauty that never would have been discovered if not for this suffering.

...in persecution**Black Wave**

Choreographer	Airi Suzuki
Performers	
Dancer	Airi Suzuki
Cellist	Diana Chen
Music	
Riverie	Blasio Kavuma
Kichijiro	David W. Solomons
Words	
Silence	Endo Shusaku

“And so I ran in the opposite direction, away from the district. Into the fields we went, trying to keep ourselves hidden as we made our way through the wheat to the place where our little hut was. Drizzle was falling gently, Japan’s rainy season had begun.” (“Silence,” Chapter 3, Rodrigues runs from the authorities)

“A solitary bird skimmed the surface of the sea, and then flew off into the distance.” (“Silence,” Chapter 4, A Japanese Christian is tied to a stake in the ocean to die slowly through exhaustion and drowning)

Christian martyrdom leaves a strong impression. There is the struggle to continue holding to passionate faith with the knowledge that discovery means death. Complex emotions lead to the temptation to give up hope in God. Is God silent or is he with us in our suffering? People’s hearts drown in feelings that ebb and flow like a black wave. In the end, hidden beauty comes through the realization that Christ took our place in sin, death, and suffering.

…箏に

『錦木によせて』により五つの小品 (1973)

1. 藍玉

藍の葉を発酵・熟成させた染料である菘(すくも)を突き固めて固形化したもの。

2. 萌黄

鮮やかな黄緑色系統の色。春に萌え出る草の芽をあらわす色。

3. 茜雲

朝日や夕日を浴びて茜色に照り映える雲。

4. 瑠璃

艶のある美しい青い宝石。宇宙から見た地球の姿に似ている。

5. 琥珀

木の樹脂(ヤニ)が地中に埋没し、長い年月により固化した宝石である。色は、黄色を帯びたあめ色のものが多い。「琥珀」の文字は、中国において虎が死後に石になったものだと信じられていたことに由来する。

二十五弦箏
作曲

手塚千絵子
長澤勝俊

「錦木」とは5色に彩った約30センチ位の小枝の束。昔東北地方でおこなわれた求愛の習俗で、男が思う相手の家へ通い、錦木を門前の地面に挿し立てます。女に迎え入れる心があればこれを取り入れます。女が愛を受け容れるまで男はこれを続けることができ、1000日通い続ければ男の誠意が認められることになっています。奥州錦木伝説では、男が九百九十九日目に力尽きて死んでしまいます。そのあとを追って女も死んでしまい、かわいそうに思った父親により、一緒に手厚く葬られるが、2人は亡霊となります。このストーリーは能の演目にもなっているが、この言い伝えにちなんで恋文のことを「錦木」と呼び、多く和歌などに用いられました。

箏の音楽は、この厳しい世の中にある恵みを伝えます。箏が奏でる美しい「悲しみ」や「重さ」が、癒しと救いへの道を表します。

15:45-16:45 小グループ ディスカッション (詳細は20ページ)

...in koto***A Tribute to Nishikigi, Five Short Pieces (1973)*****1. Aidama (Indigo)**

Purplish blue that comes from fermented indigo leaves in hardened form

2. Moegi (Spring Green)

Vibrant yellow-green like the sprouting of grass in the spring

3. Akanegumo (Rose-colored Clouds)

Reddish pink glow on clouds from the rising or setting of the sun

4. Luli (Lapis Lazuli Blue)

Glossy blue of the beautiful lapis lazuli gem like viewing earth from outer space

5. Kohaku (Amber)

Yellow-brown hue of tree resin hardened into beautiful amber jewels
(The kanji for “amber” contains the symbol “tiger,” which originates from the story that tigers turn into stone when they die.)

25-String Koto Artist
Composer

Chieko Ozawa
Katsutoshi Nagasawa

A long time ago in Tohoku, Japan, a male suitor could propose by placing “nishikigi” elaborately painted sticks with 5 colors into the ground before the girl’s house. To show her acceptance, the girl would bring the sticks into the house. Until she accepts, the suitor could continue to place sticks for 1,000 days to prove the sincerity of his love. According to the legend of Oshu, one boy’s strength was spent after placing 999 sticks, and he died. The girl quickly followed him to the grave, and they were buried together out of pity for the young lovers. They became spirits often referred to in poetry, literature, and Noh theater.

The music of the koto speaks of grace amidst harsh realities in this world. Sadness and heaviness in the koto reveal a redemptive path of healing, which can only come through suffering and loss.

15:50-16:50 DISCUSSION GROUPS (Details on pages 21)

16:50-17:00 閉会

『チェロソナタト短調』、作品65
第三楽章 ラルゴ

チェロ
ピアノ

フレデリック・ショパン

ダイアナ・チェン
アビ・ラウザー

ショパンの晩年にかけて辛く厳しい時期に作られた、この楽曲。穏やかで温かみのある第3楽章は、聴いている人々を遠くはなれた世界へ導きます。この楽章は、深い沈んだ気持ち只中のから秘められた美しさに休まるよういざないます。この楽章は、ノスタルジックな過去の記憶と希望に満ちた将来への見通しを同時に呼び起こします。

閉会の挨拶 & アナウンス

司会

天海和彦

17:00-18:00 ギャラリー展示閲覧

16:50-17:00 CLOSING

Cello Sonata in G Minor, Opus 65

III. Largo

Cello
Piano

Frederic Chopin

Diana Chen
Abi Lowther

Composed at a difficult time toward the end of his life, Chopin transports the listener to a faraway world through the tranquil and heart-felt third movement. It is an invitation to rest in hidden beauty found in the midst of melancholy. It juxtaposes nostalgic remembrance of the past with a hopeful anticipation of the future.

Closing Words & Announcements

Master of Ceremonies

Kazuhiko Amagai

17:00-18:00 GALLERY VIEWING

小グループ ディスカッション

1. 主が職場での失敗を、どのように伝道に用いるか (ニヶ国語)

リーダー: ティファニー・オーヤング

通訳: 早香尾島

「職場での失敗をどのように捉えるか」について一緒に考えてみましょう。また、「主がどのようにそれを考えておられるか。信仰を通してどう同僚と関わるかという課題」についてディスカッションします。

2. 身体と精神の繋がり: ジェスチャーに潜む意味 (ニヶ国語)

リーダー: 鈴木あいり

私たちは日常的に自分がどのような表情やジェスチャーで人と接しているのか自覚がない場合が多いのではないのでしょうか。嬉しい時には笑顔で体全体が開放的になり、悲しい時や落ち込んでいる時はうつむき加減で肩が内側に入り、体全体が閉じるような状態になりがちです。大抵の場合は心が体に影響を及ぼしているように思われますが、実は、体の動きが心に及ぼす影響もあるのです。これについて一緒に話し合ってみましょう。

3. 『フィガロの結婚』に登場するいたずらと隠れと美 (ニヶ国語)

リーダー: アヤ・ハヤシ

通訳: 前原久美子

モーツァルトの「フィガロの結婚」は、今日に生きる不朽のオペラ作品です。「いたずら(悪さ)」「偽装(変装)」「ユーモア」「美しさ」に満ちたこの曲は西洋音楽における一般恩寵(神が与える恵みのうち、全ての人に与えられる恵み)の最も美しい作品の一つといえます。特に、フィナーレの幾つかの場面では、オペラにおける「隠された美」を表現しています。永遠のテーマである「恵みと許し」を楽曲と歌詞、パフォーマンスにより表現します。

4. 間を聴く体験と箏 (日本語)

リーダー: 手塚千絵子

「聴く」という体験について考え、一緒に話し合います。音程、音色、箏の持つボキャブラリー、色彩などを私たちは自分やこの世界をどのように人と関わり合い互いに耳をかたむけるべきなのか、ヒントを得ることができます。

5. デザインの隠れた美 (日本語)

リーダー: 木津小次郎

彼女をキュートにする言葉。おじさんをクールにするデザイン。「もしも、あの人が着ているTシャツが、○○なデザインだったら…？」誰かの雰囲気や、なにかのイメージを変える。それも、アートができる。ひとつのチカラ。カンタンな言葉やデザインで、遊びましょう! (※ペンや紙は、こちらで用意する。)

DISCUSSION SMALL GROUPS

1. How does God use mistakes to evangelize in the workplace? (Bilingual)

Leader: Tiffany Ouyang

Translation: Hayaka Ojima

We will explore how mistakes are seen at work by us, by others, and how God sees them. We will discuss the hidden value of these mistakes, and how we can communicate elements of Christian faith to coworkers through them.

2. Relationship between body and mind: Meaning in the movement (Bilingual)

Leader: Airi Suzuki

We may not realize the kind of facial expressions or body language we use. When we are happy, we smile and our body opens up. When we are sad or depressed, we look down, our shoulders come down, and our body closes up. It is easy to think that our mind is influencing our body, but actually body language and expressions influence our mind. How do these things affect you?

3. Mischief, Disguise, and Beauty in “The Marriage of Figaro” (Bilingual)

Leader: Aya Hayashi

Translation: Kumi Maehara

Mozart’s *The Marriage of Figaro* is one of the most enduring works of operatic repertoire. Full of mischief, disguise, humor, and beauty, this opera holds one of the most beautiful examples of common grace in Western music. We will look at a few moments from the *finale*, which demonstrate the hidden beauty found in opera and the abiding themes of grace and forgiveness that can be found in music, lyrics, and performances.

4. Koto and the Experience of “Ma” (Japanese)

Leader: Chieko Tezuka

“Ma” (the space between) is a traditional Japanese concept of space and relationship. By looking at the unique intervals, timbre, color, and characteristics of the koto, we gain insight into ourselves, the world we live in, and how we can relate and listen to one another.

5. Hidden Power of Design (Japanese)

Leader: Kojiro Kidu

“What a cool girl!” “What a cool guy!” How does the design on a person’s shirt affect your image of them? There is no doubt that design changes the atmosphere and image of a person. This is one of the powerful aspects of art. Let’s look deeper into this power together and experiment with making some simple words and designs. (Pen and paper provided.)

6. 墨絵 (日本語)

リーダー: 鮫島圭代

水墨画の基本である、「三墨法」と「側筆・直筆」をお伝えします。墨の「濃淡」、「滲み」、「かすれ」を楽しみながら、自由に描きましょう。(※墨、筆、水墨画用の和紙「画仙紙」をご用意します。)

7. ワークショップ: キャラクターの演技 (ニヶ国語)

リーダー: ショーン・デイビス

通訳: 野村隆嗣

俳優という仕事は、演技する人物に入り込み、芝居をすることです。演じることは、何を伝えることになり
ますか。また、それは日々の生活を変えることになりませんか。人生において、私たちは、どのようなキャラ
クターを演じていますか。どのように、キャラクター(個性、性格、気質)を自分らしく変化させることができ
ますか。

8. 心に天の声を響かせて (日本語)

リーダー: 早矢仕“ジョージ”宗伯

私たちには、日々、色んな声が聞こえています。あなたには、どんな声が聞こえていますか。私たちは、
心に響いている声に動かされています。この世界には、天からの声も響いています。それは、どんな声
でしょう。その声を聴き、今日を生きる力を得、人生に希望を見出すことが出来るようになりたいのです。

9. ゴスペルワークショップ: 『Bless the Lord, O My Soul』 (日本語)

リーダー: 赤羽優子

『Bless The Lord, O My Soul』という曲を使って、ゴスペルの発声方法や、歌詞の意味(詩篇103篇)、証を
織り交ぜながら、心から賛美を捧げると言う事を学んで、実践していきます。

Bless the Lord, O my soul,
And all that is within me,
Bless His holy name.

神よ あなたを讃えます 心の底から
私の中にあるもの全てをかけて
あなたの名を祝福するのです

He has done great things,
He has done great things,
He has done great thing,
Bless His holy name.

神は私を愛してくれた
すごい奇跡を起こしてくれた
私の為に素晴らしいことを叶えてくれる
感謝してあなたの名を讃えましょう

6. Workshop: Sumie (Japanese)

Leader: Tamayo Samejima

We will explore together the fundamentals of “suibokuga,” a type of *sumie* ink painting, in which nuances are expressed through variations in brush technique and contrasted shades of ink. (Brush, ink, and Japanese paper provided.)

7. Workshop: Character Acting (Bilingual)

Leader: Sean Davis

Translation: Takatsugu Nomura

An actor transforms oneself into the character he or she is called to play. What does it take for an actor to play a character? Does this translate into daily life? Are we aware of the character we are playing in our own lives? How can we transform that character into one of our own design?

8. Echoes of God’s Voice in our Heart (Japanese)

Leader: George Hayashi

Every day we are bombarded by voices. What are some of these voices? Some have a particularly strong effect on us. There is a voice from heaven that echoes throughout this world. What kind of voice is this? If we listen to this voice, we can find and receive living hope in our lives.

9. Gospel Workshop: “Bless the Lord, O My Soul” (Japanese)

Leader: Yuko Akaha

Through the song, “Bless the Lord, O My Soul,” we will interweave Gospel vocal techniques, meaning in the lyrics (from Psalm 103), and testimonies to put into practice what it means to give praise from our hearts.

Bless the Lord, O my soul,
And all that is within me,
Bless His holy name.

He has done great things,
He has done great things,
He has done great thing,
Bless His holy name.

展覧会 (ロビー)

① 鮫島圭代

蓮図

絹本墨画

② 石川菜穂子(墨画塾 継未-TUGUMI-)

双鶏図 蘆雪写し

紙本墨画

③ 小日向正子(墨画塾 継未-TUGUMI-)

金魚図

紙本墨画

④ 浅田佳子(墨画塾 継未-TUGUMI-)

茄子図

紙本墨画

⑤ 早矢仕“じょ〜じ”宗伯

それでも、僕らは今日、希望の種を…

アクリル、キャンバス、M20号縦

「見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。」(イザヤ書43章19節)

2016年3月、三年ぶりにフクシマの富岡駅を訪ねました。三年前は手付かずで遺されていた瓦礫は取り去られて、ほとんどなくなっていました。以前の風景がなくなり、更地になった場所を見て何だか寂しい気持ちになりました。その時、心に響いて来る言葉がありました。「見よ、わたしは新しいことをする…」この言葉の意味を思い巡らし、考えています。それは、フクシマにとって、私にとって、あなたにとってどんなことなのでしょう…。今日、ここから何か新しいことが始まりますように…。いや、もうすでに、私たちの中から始まっているのです。希望という名の何かが…。

GALLERY (Exhibition Space)① **Tamayo Samejima****Lotus**

Ink painting on silk

② **Nahoko Ishikawa (Ink Painting School: TUGUMI)****Copy of Rosetsu's 'Pair of Chickens'**

Ink painting on paper

③ **Masako Kohinata (Ink Painting School: TUGUMI)****Goldfish**

Ink painting on paper

④ **Keiko Asada (Ink Painting School: TUGUMI)****Eggplant**

Ink painting on paper

⑤ **Hiroataka "George" Hayashi****"Even so, with seeds of hope, today we..."**

Acrylic, Canvas, #M20

"Behold, I am doing a new thing; now it springs forth, do you not perceive it? I will make a way in the wilderness and rivers in the desert." (Isaiah 43:19)

In March 2016, I visited Fukuoka Station in Fukushima for the first time in 3 years. The rubble left untouched 3 years before had been almost completely removed. The previous landscape was gone, and I felt a sense of loss looking at the empty land that was left. That day, I heard words echo in my heart, "Behold, I am doing a new thing..." and I continue to reflect on and ponder the meaning of those words. What do they mean to Fukushima, to me, to you? May a new thing start today, from right here... No! It is already beginning among us. Something called "hope"...

展覧会 (前頁より続く)

⑥ 早香尾島

アールデコ様式 ウェディングドレス
イスラム美術の研究者の為の異国情緒溢れるブルーのドレス
ガーデンウェディング為のビンテージの古めかしいドレス

⑦ ヘルベルト・ステジヨ

「心を深く、気持ちを丸くする」
90 x 60 cm

⑧ 木津孝次郎

PARADISE OF BALLET
MRS. WILKINSON
A2縦 x 2枚

⑨ 柴田ますみ

着物:「日本の四季」
着物:「沖縄の蒼い海」

⑩ ミサト・パング

Through the Bottles
Oil on panel, 12" x 16"

In Passing
Oil on canvas, 12" x 12"

String Beans and Eggplants' Remains
Oil on panel, 5" x 7"

Mini Houses
Oil on panel, 12" x 12"

GALLERY *(continued)***⑥ Hayaka Ojima**

Art Deco style wedding dress
Exotic blue dress for an Islamic Art researcher
Vintage dress for a garden wedding

⑦ Herbert Sutejo

心を深く、気持ちを丸くする : Deepen the heart / Round the feelings
 Japanese phrase implying warmth and openness
 (90 x 60 cm)

⑧ Kojiro “Cozy” Kizu

Paradise of Ballet
Mrs. Wilkinson
 A2 x 2

⑨ Masumi Shibata

Four Seasons in Japan (Kimono)
Blue Sea in Okinawa (Kimono)

⑩ Misato Pang

Through the Bottles
 Oil on panel, 12” x 16”

In Passing
 Oil on canvas, 12” x 12”

String Beans and Eggplants’ Remains
 Oil on panel, 5” x 7”

Mini Houses
 Oil on panel, 12” x 12”

プロフィール／PROFILES

天海和彦 Kazuhiko Amagai

司会。下北沢の放送表現教育センターにて、声優山内雅人氏に朗読を師事。以来、朗読家として活動し、テレビ、ラジオ、ゲーム、CMなどに声の出演。クラシック音楽の知識を活かし、コンサートの司会者としても活躍している。

MASTER OF CEREMONIES. Kazuhiko studied under voice actor Masato Yamanouchi at the Broadcasting Education Center in Shimokitazawa. He has performed as a voice actor for television, radio, games, and commercials. Knowledgeable about classical music, he also works as master of ceremonies for many concerts.

ダイアナ・チェン Diana Chen

チェロ奏者。国際関係、特に現在は性的人身売買産業に反対する分野で働く。幼少時よりチェロを学び、大学で演奏法を学んだ。コミュニティ・グループリーダー。リンカーンスクウェアのワーシップチームで奉仕。インドおよびコンゴ民主共和国への宣教をリードしている。

CELLO. Diana worked in international affairs and currently works in the anti-sex trafficking industry. She grew up playing the cello and continued performance studies in university. She co-leads a community group, serves on the Lincoln Square worship team, and has been on and led missions trips to India and the Democratic Republic of the Congo.

シーラ・クリフ Sheila Cliffe

ライター。2013年リーズ大学にてPh.D取得。1989年テンプル大学日本校M.Ed.取得。1983年ロンドン大学B.A.取得。現在十文字学園女子大学語学セクター教授。イギリス、ドバイ、オーストラリアにて着物の展示会実施。1992年鈴屋着物学院着付け、着付け講師免許3級取得。2002年日本の民族衣装奨励活動に対して、財団法人民族衣装文化普及協会より「きもの文化普及賞」を受賞。2007年からイギリス、アメリカ、オーストラリア、韓国などにて着物歴史、流行について、学会発表、スピーチ。2012年『日本のこと英語で話そう』出版。中経出版。2017年『The Social Life of Kimono: Japanese Fashion Past and Present』(Bloomsbury Publishing)。Hello Nippon, NHK、エコーの作法、朝日テレビ、東京ファッションエクスプレス、NHK World、日本テレビのニュースアプリ、Visio、Nanaoh、日経大人のoff、Times Higher Education、The Japan Times、Tokyo Weekenderなど。現在、大学で英語や着物の文化などを教えながら、大学内にて浴衣デイの計画実現。着物ファッションショーの計画実現、現代日本社会における着物や、着物の歴史、変化、ユーザー研究をしている。

WRITER. Sheila graduated with a Ph.D in “Revisiting Fashion and Tradition through the Kimono” from the University of Leeds in 2013. She is a professor at Jumonji Gakuen Women’s University teaching English and kimono culture. She has held kimono exhibitions in the UK, Dubai, and Australia. She received her grade 3 dressing license from Suzunoya Gakuen Kimono School in 1992 and was awarded for her kimono spreading work from the Society for the Preservation of Japan’s National Dress in 2002. Since 2007, she has presented her kimono research in numerous countries including the UK, USA, Korea, and Australia. She published, “Nihon no koto, Eigo de Hanasou” with Chuukei publishing in 2012, and “The Social Life of Kimono: Japanese Fashion Past and Present” with Bloomsbury publishing in 2017. She has appeared on Hello Japan, NHK, Eko no Saho,

TV Asahi, Tokyo Fashion Express, NHK World, News Every, The Times Higher Education, The Japan Times, Visio, Nikei Otona no Off, Nanaoh, and Tokyo Weekender. At present, Sheila is teaching and planning yukata events, fashion shows, and researching kimono wardrobes of Japanese women.

ショーン・デイビス Sean Davis

俳優。ジュリアード音楽院ドラマ科グループ35卒業。ブロードウェイやハリウッドで活躍している。映画、テレビドラマ、舞台やCMに出演。ニューヨーク在住

ACTOR. Juilliard School Drama Department graduate, Group 35. Broadway & Hollywood actor. Sean has appeared in many films, TV dramas, stage productions, and commercials. He currently resides in New York City.

グレースシティゴスペルクワイヤ Grace City Gospel Choir

ゴスペル・クワイヤー。グレースシティチャーチのゴスペルクワイヤ(通称:グレゴス)として2010年10月に結成。教会が銀座で始まったことから、今も銀座で月2回夜に練習しています。ディレクターの指導のもと、心と声を合わせてイエス・キリストへの賛美を歌っています。結成後間もなく、東日本大震災復興支援で訪れた石巻には、1~2年に一度訪問しています。活動は主に東京で、年に数回、教会の礼拝、国内外のクワイヤーとのジョイントコンサート、また、老人ホームなどで歌っています。ご興味のある方は、ご連絡ください。(info@gracecitychurch.jp)

CHOIR. Grace City Church Gospel Choir was formed in October 2010. Because Grace City Church first started in Ginza, the choir continues to meet in Ginza for rehearsals twice a month. Shortly after forming the choir, we participated in musical relief efforts to support Ishinomaki after the 2011 earthquake, and continue visiting every year or two. In Tokyo, we sing several times a year in church worship services, in joint concerts with Japanese and international choirs, in a local senior citizen's home, and many other places. For more information or inquires into joining the choir, please send an email to info@gracecitychurch.jp.

林あや Aya Hayashi

フルート奏者。ニューヨーク市立大学大学院音楽専攻博士課程。SF・ファンタジー音楽に詳しく、個性と集団的なアイデンティティーが音楽演奏によってどのように構築されるかをテーマに研究している。2013年 GothamFellow修了生。リディーマー・ダウントウン 午後のコミュニオンのリーダーの一人。歌、踊り、演劇、フルートの演奏が好き。

FLUTE. Aya has a Ph.D in Musicology at The Graduate Center, City University of New York, where she focuses on science fiction/fantasy music and how musical performance constructs personal and communal identities. Aya was a Gotham Fellow in 2013. She is the co-captain of the Redeemer Downtown PM communion service. She likes to sing, dance, act, and play the flute.

早矢仕“ジョージ”宗伯 Hirotaka “George” Hayashi

フリーランス牧師画家。1965年生まれ。京都で育ち、18歳の時に友人の誘いで教会に足を運ぶようになり、主イエス・キリストを救い主として受け入れる。美術系の短大でグラフィックデザイン・イラスト専攻し、卒業後グラフィックデザイナーとして出版社に勤める。1990年、献身に導かれ、牧師になることを志し聖書宣教会にて学ぶ。1993年より日本福音自由教会の牧師として埼玉県にある東川口福音自由教会にて牧会を始める。16年間の牧会活動を経て、2009年に東京武蔵野福音自由教会の牧師として招聘を受け、転任。同教会にて8年間の牧会に携わる。2017年5月、主からの新しい召命を受け、同教会の牧会を退き、「New Creation Arts Movement イエスの風」を立ち上げる。フリーランスの牧師&アーティスト(牧師画家)として、アートによって神の国の福音を表現し、日本の諸教会、さらに広く社会に貢献し、宣教が出来るようにと活動を開始。キリスト教放送局FEBCのパーソナリティとして「みことばお散歩トーク」等番組を担当。聖書同盟「みことばの光」の執筆。フクシマアートプロジェクト「7つの詩~あれから6年僕らがみているフクシマ~」主催。B&Aアート展 出展など幅広く活動している。(メール:george2910h@yahoo.co.jp) www.facebook.com/NCAMwindofjesus/

FREELANCE PASTOR ARTIST. Born in 1965, George grew up in Kyoto, Japan. He received a degree in Graphic Design and Illustration, then worked as a graphic designer at a publishing company. In 1990, George began studying at Japan Bible Seminary. Since 1993, he has been pastoring in the Evangelical Free Church of Japan, starting at Higashi-Kawaguchi EFC, where he served for 16 years, and then Tokyo Musashino EFC, where he served for 8 years. In May 2017, George started “New Creation Arts Movement – The Wind of Jesus” as a freelance pastor & artist, expressing the gospel through the arts and coming alongside Japanese churches and communities. Current activities include appearances as a FEBC Christian broadcaster, hosting programs such as “みことばお散歩トーク” (Take a Walk with God’s Word), contributing to “みことばの光” (Light of the Word) by Scripture Union Japan, hosting “Seven Poems ~ Six years. Seeing Fukushima”, and displaying in B&A’s (Bible & Art) art shows. You may contact George by email (george2910h@yahoo.co.jp) or facebook (www.facebook.com/NCAMwindofjesus/).

木津孝次郎 Kojiro “Cozy” Kidu

イラストレーター。東京下町のせんべい屋生まれ。父は「せんべいも、絵も、カタチより味！」が信条。広告会社でアートディレクターとして働き、CSTVの子ども向けアニメーションの制作に従事。2012年より、娘の日常の幸せをテーマに「RAKUEN」(楽園)シリーズを描き始めた。妻と娘、亀とメダカと、佃で暮らす。すこしラクダに似ている。

ILLUSTRATOR. Cozy was born in a senbei (rice cracker) shop in downtown, Tokyo, where his father always said, “Taste rather than shape is most important with drawing or rice crackers!” He works as the art director for an advertising company and makes animations for kid’s television programming for CSTV. Cozy began drawing the “RAKUEN” (Heaven On Earth) series of his daughter’s daily happiness in 2012. He lives in Tsukuda with his wife, daughter, turtle & fish. He looks a little like a camel.

アビ・ラウザー Abi Lowther

ピアニスト。3.11の震災直後、四人の日本人女性と共に地域のボランティア団体、佃LOVESを立ち上げる。地震から数日後には津波と放射能汚染災害にあった人々を助けるために数百人と共に支援活動を展開。ベルヘブン大学ピアノ演奏科で音楽学士を取得し、メンフィス大学ピアノ演奏科で修士号を取得。定期的リサイタルやコンサート演奏活動を行う。夫のロジャーとの間に、エイデン、イステン、コエンと、カイゼンの四

人の小さな息子達と共に東京の中心に居を構える。

PIANIST. Director of Worship at Grace City Church Tokyo. Abi helped start TSUKUDA LOVES, a community volunteer organization after the March 11, 2011 earthquake. Abi has a Bachelor of Music in Piano Performance from Belhaven University and a Master of Music in Piano Performance from the University of Memphis. She performs regularly in recitals and concerts. She lives in downtown Tokyo with her husband Roger and four small boys.

ロジャー・ラウザー Roger Lowther

オルガニスト。コミュニティーアーツ東京創設者、ディレクター。グレースシティーチャーチ東京の「信仰と芸術」のディレクター。ジュリアード音楽院にて、パイプオルガン演奏修士およびコロンビア大学のエンジニアリング応用物理学学士も取得。4枚のアルバムをリリースし、コンクール受賞も多数。家族とともに東京の月島に在住。

ORGANIST. Community Arts Tokyo Founder & Director. Grace City Church Tokyo Faith & Art Director. He received his Master of Music in Organ Performance from The Juilliard School and his Bachelor of Science in Applied Physics from Columbia University's School of Engineering and Applied Science. Roger has won various competitions and released four albums. He and his family live in the Tsukishima area of Tokyo.

ティファニー・オーヤン Tiffany Ouyang

ファッションデザイナー。色彩スペシャリストとして、ファッション業界で働く。テキサス出身、服装工科大学を卒業。ファッション業界における信仰と仕事の統合に関心があり、ファッション・コミュニティー・グループのリーダーを務めながら、メンバーがファッション業界においてキリストを表現できるようにサポートしている。ランニング、自発性とサワーキャンディが好き。

FASHION DESIGNER. Tiffany works in fashion as a color specialist. She is from Texas and studied at the Fashion Institute of Technology. Tiffany has been exploring the integration of faith and work in the fashion industry and leads a fashion community group to support representing Christ in the fashion industry in New York. She enjoys running, spontaneity, and sour candy.

手塚千絵子 Chieko Ozawa

二十五弦箏演奏家。これまでに箏を祖母三上澄則、故中村純子、佐野奈三江、松下知代、横山佳代子、二十弦箏を吉村七重、二十五弦箏を野坂恵子、シュタイナー音楽理論を竹田喜代子、オイリュトミーを渋谷智栄子、作曲を神田晋一郎各氏に師事。2009年箏曲三上社師範資格主席合格。同年、地元である杉戸宮代地域の芸術家グループMOSTを結成し、様々なイベントのプロデュースに関わる。その中で詩人、彫刻家、書家、ダンサーなどジャンルの垣根を超えた様々な、個性豊かなアーティストたちとの交流を深め、その生き方や哲学に触れ、影響を受ける。2011年インド古典楽器であるシタールと二十五弦箏のユニット「ヌーベルミューズ」を結成、これまでに日本各地やドイツ、イギリス、フランスでライブを行い好評を博す。また、打楽器、尺八、ダンスなどの、様々なアーティストとの共演を試みる。2012年より2015年までの3年間のイギリス居住中には、イギリス及びドイツの各地より招かれソロコンサートを多数行う他、様々なイベントに参加し、多くの箏を知らない人、日本のことを知らない人の前で演奏し、好評を博した。現在東京都在住、演奏活動、教授活動を行っている。

25-STRING KOTO ARTIST. Chieko studied the koto with her grandmother Suminori Mikami, the late Junko Nakamura, Namie Sano, Chiyo Matsushita, and Kayoko Yokoyama, and continued music studies under Nanae Yoshimura (20-string koto), Keiko Nosaka (25-string koto), Kiyoko Takeda (Steiner music theory), Chieko Shibuya (Eurhythmy), and Shinichiro Kanda (composition). Chieko graduated from Keio University in 2005 in the Department of Policy Studies. In 2009, Chieko was awarded the top position in qualification of the Mikami Koto Music Teachers. In the same year, she helped from the artists' group *MOST* in her hometown of Sugito Miyashiro. In 2011, Chieko formed the koto and sitar (classical Indian instrument) group *Noevelle Muse*, whose live performances have been well received by audiences in Japan, Germany, England, and France. She also performs experimental collaborations with percussion, shakuhachi (Japanese flute), and dance. While living in England 2012-2015, Chieko performed in many concerts across Europe, helping to introduce people to the koto and things from Japan. Chieko is living, performing, and teaching in downtown Tokyo.

鮫島圭代 Tamayo Samejima

墨絵アーティスト。学習院大学美学美術史学専攻卒。英国カンバーウエル美術大学留学。美術ライター、翻訳家。美術館の音声ガイド、アートコラムの執筆、美術書の翻訳を手掛ける。水墨画家、墨画塾主宰。大学1年の研究で南北朝時代の画家・可翁の水墨画に魅せられ、水墨画家・目黒巢雨氏に入門。英国留学中より、ブランド‘Tamayo’として墨絵を描いた洋服を、渋谷西武、ラフォーレ原宿、hpfrance、tomorrowlandで取扱。roomsに出展。タッキー&翼PV衣装に墨絵の着物が使用される。2012年ドイツ、2013年アメリカで個展。2015年、Whenever Wherever Festival White 2015にて墨絵パフォーマンス。2016年、新宿伊勢丹、新宿タカシマヤにて作品展示。2017年、ファッションブランドLittle Eagleとのコラボレーションで墨絵を描いたドレスを、大阪・大丸ミュージアムほか全国各地で展示。雑誌『男の隠れ家』9月号に水墨画教室が掲載される。雑誌『青淵』9月号の表紙絵を描く。

SUMIE ARTIST. Tamayo graduated in Art Studies and Art History at Gakushuin University, and studied abroad at Camberwell College of Arts, UK. As an art writer and translator, Tamayo is experienced in making art museum audio guides, authoring art columns, and translating art books. She is also a sumie painter and chair of an ink painting school. During her first year of university, she was enchanted with the work of Kao, a painter of the Nanboku (Northern and Southern) dynasties period, and began training with sumie painter Sou Meguro. While studying abroad in England, she developed her own brand of sumie painted clothing, “Tamayo,” sold through Shibuya Seibu, Laforet Harajuku, hpfrance, and tomorrowland, and exhibited in “rooms.” Other works include: sumie kimono for Tackey & Tsubasa promotional video, solo exhibitions in Germany (2012) and America (2013), sumie performance in the 2015 “Whenever Wherever Festival White,” 2016 works exhibited in Shinjuku Isetan and Shinjuku Takashimaya, 2017 collaboration with fashion brand “Little Eagle” on a sumie painted dress, exhibited in Osaka’s Daimaru Museum and across Japan, September issues of “Otoko no Kakure Ie” magazine (Sumie class featured), and Aobuchi magazine (cover art).

鈴木アイリ Airi Suzuki

ダンサー。19歳で渡米。カリフォルニア州ディアプロバレー大学卒業。2003年より4年間ニューヨークにてバレエやモダンダンスを学ぶ。2009年よりフランスのダンスカンパニーにダンサーとして所属、世界各国のフェスティバルにて公演。2011年米リーボック社のグローバルキャンペーン日本代表モデルに選出されCMや広告などに出演。自身も振付家としてインドのダンスビエンナーレや香港大学主催のアートフェスティバル等様々な場所に招待され作品の制作、公演などを行う。ボディメンテナンスの分野ではNew YorkのKane Schoolにてピラティス指導資格を取得、その他、マタニティヨガや産後ヨガなどの指導資格も保持。精神面と肉体面の相互関係に着目し、各地にて指導や講演を行っている。2016年1月より一般社団法人UTMOSTとして音

楽とダンスを中心とした芸術団体を東京を拠点にスタート。 www.utmost.tokyo

DANCER. Airi Suzuki went to America at the age of 19, graduating from Diablo Valley College in California. From 2003, she spent 4 years in New York studying ballet and modern dance. From 2009, she performed around the world with a dance company based in France. In 2011, she was selected as the model for Japan for Reebok's global campaign, appearing in commercials and advertisements. As a choreographer, she was invited to create new works and perform in various international locations, including Dance Biennale in India and Hong Kong University Art Festival. Airi is certified in Pilates instruction from the Kane School in New York, as well as prenatal and postpartum yoga. She lectures and coaches in many areas, focusing on the correlation between the physical, mental, and spiritual. In 2016, Airi and Samuel Kan established the arts organization UTMOST Tokyo. www.utmost.tokyo

吉田タリタ Talita Yoshida

モデル。20歳から名古屋のモデル事務所に所属し、主にブライダルモデルとして活躍。ブライダル雑誌やショーにも出演。2012年東京に上京、モデル事務所に所属し、映画のエキストラとして出演。(謎解きはディナーのあと 映画版)バラエティ番組にも出演。(TOKIOカケル SP企画)

MODEL. Talita worked with a model agency in Nagoya from the age of 20 and has appeared in numerous bridal magazines and shows. In 2012, Talita relocated to Tokyo to pursue her modeling career, appearing in movies such as *After-Dinner Mysteries* and Japanese TV shows hosted by the idol group TOKIO.

ボランティア & スタッフ Volunteers & Staff

アーティストックディレクター

ロジャー・ラウザー

制作ディレクター

吉田隼人

ギャラリー

鍛冶亨

熊毅俊

山上桂 (ディレクター)

子どもプログラム

黒岩奈央

南田信吾

宮本雅子 (ディレクター)

呉佳琳

ナーサリー

端野洋子

林桃子 (ディレクター)

相馬ゆかり

受付と商品販売

池淵美香

ラファエル池上

落合史恵

ブックレット・デザイン

林桃子

ロジャー・ラウザー

編集&翻訳

平田志緒

エリー・ホネア

岡田智子

音響

HIS WILL

照明

浜離宮ホールスタッフ

通訳

ダンカン・マーク

横尾恵美

フォトグラファー

新潟ソフィア

ビデオ映像

ロス・リー

搬入・搬出

エリー・ホネア

黒崎直哉

熊毅俊

Artistic Director

Roger Lowther

Event Organizer

Hayato Yoshida

Gallery

Toru Kaji

Kishun Yuu

Kei Yamagami (Director)

Children's Program

Nao Kuroiwa

Shinigo Minamida

Masako Miyamoto (Director)

Karin Wu

Nursery

Yoko Hashino

Momoko Hayashi (Director)

Yukari Soma

Reception & Book Table

Mika Ikebuchi

Rafael Ikegami

Fumie Ochiai

Booklet Design

Momoko Hayashi

Roger Lowther

Editing & Translation

Shio Hirata

Ellie Honea

Tomoko Okada

Sound

HIS WILL

Lighting

Hamarikyu Hall Staff

Translation

Mark Duncan

Emi Yokoo

Photography

Sophia Niigata

Video

Ross Lee

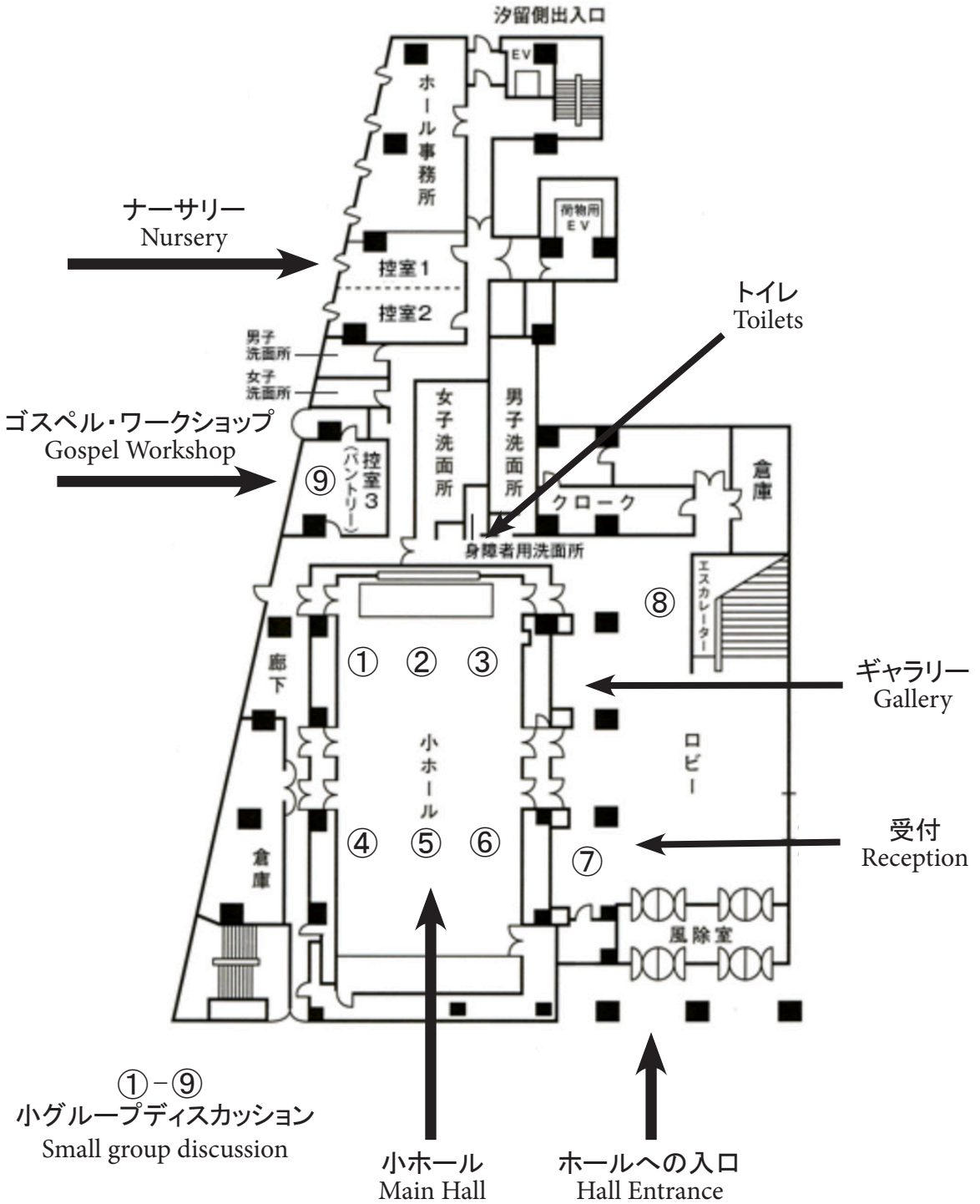
Set-up & Take-down

Ellie Honea

Naoya Kurosaki

Kishun Yuu

フロア・ガイド Floor Plan



グレースシティチャーチ東京 SERVE, ENJOY, RENEW

グレースシティチャーチ東京のヴィジョンは、東京都心にイエス・キリストの恵みの福音を満たすことによって、人々の人生が新しくされ、都市が回復し、神の国が建て上げられることを通して、神の栄光をあらわすことです。

私たちは、教会の中だけにフォーカスをするのではなく、街やその中にいる人々の必要に応じていくことが大事だと信じています。東京が栄えるため、福音の愛、希望、喜びに生きて行くことを探っています。そのため、次のような価値観を大切にしています：

街に仕える ・ コミュニティーを楽しむ ・ 福音により変えられる

私たちの活動には、「信仰とアート」に関する今日のようなイベントもあれば、「信仰と仕事」に関するランチタイムミーティングなど週の昼間に聖書の御言葉でリフレッシュできる機会も設けています。その他、コミュニティーグループ、ゴスペルクワイアや憐みの働きなどもあります。

www.gracecitychurch.jp



コミュニティーアーツ東京 アートがつなぐコミュニティー

コミュニティーアーツ東京は、芸術を通して人と人をつなげる芸術家の非営利団体です。2011年3月11日の地震、津波、そして原子力災害において、励まし、コミュニティーを築き、癒しをもたらす芸術の力を体験したことをきっかけに、東京と日本全国にその芸術の力を広げたいという思いで活動を開始しました。

コミュニティーアーツ東京は、パフォーマンス、コンサート、公演、パネルディスカッション、シンポジウム、音楽レッスン、マスタークラス、上映会、展覧会、アートパーティーなどを開催しています。フォーマルなイベントやカジュアルなイベントを通して日本のプロフェッショナルな芸術の世界と関わっています。さらに、様々な教派のキリスト教会に、芸術と礼拝のためのリソースを提供しています。

www.communityarts.jp



GRACE CITY CHURCH TOKYO SERVE, ENJOY, RENEW

Grace City Church Tokyo's vision is to reveal God's glory, to renew people's lives, to restore the city, and to build God's Kingdom through proclaiming Christ's gospel of grace in center-city Tokyo.

We believe it essential to address the needs of the city and its people. Working for the flourishing of the city of Tokyo, we seek to live out the love, hope and joy of the gospel. Therefore, we cherish the following values:

Serving the city • Enjoying community • Renewal by the gospel

FAITH & ART activities include concerts, gospel choirs, performances, lectures, discussions, and conferences, which are part of our larger FAITH & WORK activities including lunchtime meetings, seminars, discussion groups, and other gatherings. Grace City Church Tokyo also offers community groups, gospel education, and mercy ministries.

www.gracecitychurch.jp

**COMMUNITY ARTS TOKYO** Building community through the arts

Community Arts Tokyo is a non-profit organization of artists dedicated to connecting people through the arts. We started in response to the earthquake, tsunami, and nuclear disasters on March 11, 2011, when we experienced first hand the power of the arts to encourage, build community, and bring healing. We work to bring that power to the city of Tokyo and the rest of Japan.

Community Arts Tokyo offers performances, concerts, lectures, panel discussions, symposiums, music lessons, masterclasses, screenings, exhibitions, art parties, and conferences. We connect to the professional art world in Japan through formal and informal events. We also work to connect and provide resources for churches from many denominations and groups through the arts and worship.

www.communityarts.jp



